

東急不動産のシニア事業 ブランド強化 事業ステートメント策定 ～私らしくを、いつまでも。～

東急不動産株式会社(本社:東京都港区、社長:植村仁)は、シニア事業のブランド力強化を図り将来的な事業展開を推進するべく、事業ステートメントを策定いたしましたのでお知らせいたします。

東急不動産では、日本で急速に進行している高齢化等の社会的な変化の背景と、シニア世代の意識やライフスタイルの多様化に応えるため、2004年のグランクレールあざみ野開業を皮切りに、10年以上に渡ってシニア事業に携わってまいりました。

既存事業である自立シニア向け住宅事業および要介護者向け介護住宅事業の「グランクレール」シリーズに加え、新規事業として在宅シニア向け事業の「ホームクレール用賀」を開業。また、新規開発として、世田谷中町プロジェクトに着手いたしました。

新規事業展開の中で、このたび“私らしくを、いつまでも。”という事業ステートメントを策定し、事業力強化・ブランド強化を図ることいたしました。

東急不動産のシニア事業では、いつまでも自分らしい暮らしができる住まいを提供できるよう、その方一人ひとりに合わせた様々なサポートを行っており、“在宅からシニア住宅までトータルサービスの提供”が可能になっています。

この事業ステートメントには、グランクレールシリーズで10年以上にわたり運営・開発を手掛けてきた経験・ノウハウをもとに、いかに健康寿命をのばし、一人ひとりの新しい幸せをつくれるように取組み、お客様の人生の「豊かな時間づくり、新しい幸せづくり」をサポートしながら、ともに歩みつづけたいという想いをこめております。この事業ステートメントをもとに、自立型中心の住宅開発のみならず、在宅シニア向け事業や、今後は、介護予防・認知予防に特化した介護型住宅も展開し、シニア世代へ様々なバリエーションの商品を提供していきます。

事業ステートメント

私らしくを、いつまでも。

これからの人生を愉しんでいただくために、
寄り添い、ともに歩みつづけます。

◆グランクレール

東急不動産と東急イーライフデザインでは、2004年2月の「グランクレールあざみ野」開業以降、2014年4月開業の「グランクレール青葉台二丁目ケアレジデンス」まで、全15住宅・1,080室を運営しています。

自立したシニア世代を対象とした「シニアレジデンス」と、介護の必要な方を対象とした「ケアレジデンス」の2種類の住宅を運営する強みを活かし、将来的に介護が必要になった際の自立型から介護型への移り住み保証など、独自のサービスも展開しています。



◆ホームクレール

「グランクレール」シリーズの運営ノウハウを活かし、2015年に第一号拠点として「ホームクレール用賀」を開業いたしました。会員向けのサービスの窓口として「生活コンシェルジュ」が常駐し、食事・フィットネスクラス・カルチャークラスなどのプログラムを通して“楽しみ”を提供しています。

その他、グループリソースを結集し、健康アドバイスサービスやお手伝いサポートなど、シニア世代の方々に“安心”を提供できるよう運営しています。



◆世田谷中町プロジェクト

東京都の「一般住宅を併設したサービス付き高齢者向け住宅整備事業」において、当社が事業化を進めている世田谷中町プロジェクトが選定されました。

地域に開かれた世代循環型の街づくりをコンセプトに、多世代交流拠点として、敷地内には保育所のほか、交流促進のためのカルチャールームやコミュニティカフェ、周辺シニア住民が介護サービスを受けられる拠点などを設ける予定です。

